

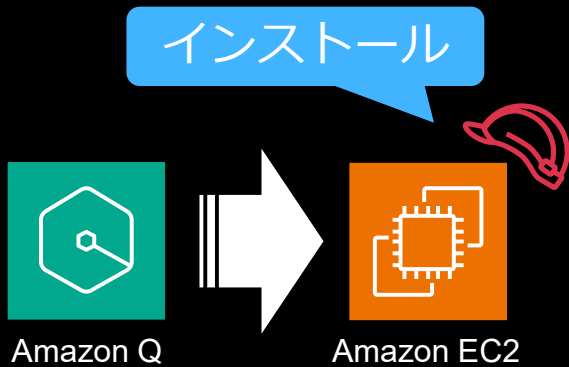
AWS ちょっと触ってみる編

Amazon Q Developer で謎ゲームを作ってみる方法

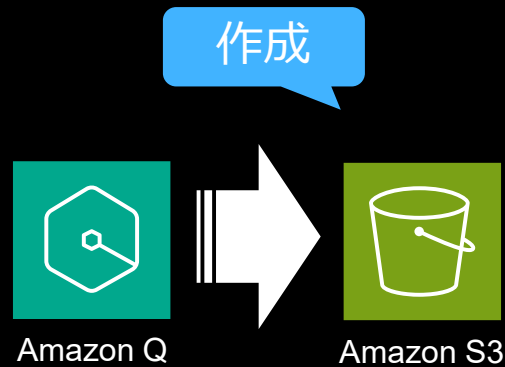


ハンズオン構成 : Amazon Q Developer

Step 1. 準備

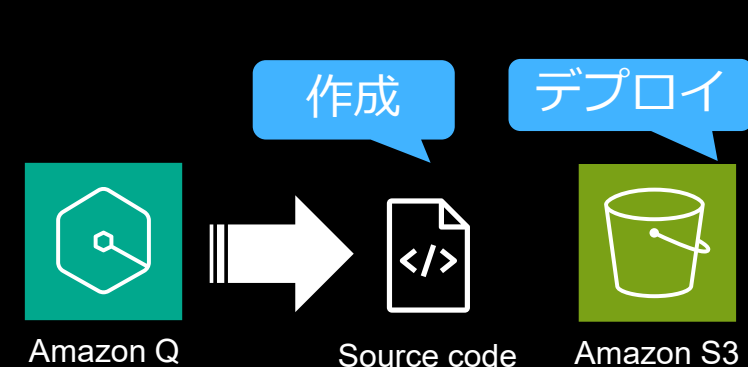


Step 2. S3バケット作成



作成指示

Step 3. アプリ作成・デプロイ



アプリ作成・
デプロイ指示

Amazon Q Developer

アカウント準備



AWS Builder ID の取得



aws

ブラウザで以下のURLにアクセス
<https://profile.aws.amazon.com/#/profile/details>

AWS Builder ID は、ビルダー用の新しい個人プロフィールです。 [詳細はこちら](#)

- ✓ 無料で使用を開始する
- ✓ 既存の AWS アカウントを補完する
- ✓ オプションの MFA でログインを保護する

E メールアドレス

次へ

OR

すでに AWS Builder ID をお持ちですか? サインイン

ここでは、Amazon Q Developer を使うために必要な
AWS Builder ID の取得（作成）を行います



AWS Builder ID の作成

AWS Builder ID は、ビルダー向けの新しい個人プロフィールです。 [詳細はこちら](#)

- ✓ 無料で開始
- ✓ 既存の AWS アカウントを補完
- ✓ オプションの MFA でログインの安全性が向上

メールアドレス

名前

これは、AWS を利用する他の人に見られる可能性があります。

クリック

受信できるメールアドレス
ユーザー名
を入力

続行して AWS Builder ID を使用することにより、[AWS カスタマーアグリーメント](#) (「アグリーメント」)、[AWS のサービス条件](#)、[AWS プライバシー通知](#)、[AWS 利用規約](#) に同意するものとします。本アグリーメントにおいて、AWS Builder ID は AWS アカウントとみなされます。このサイトでは必須 cookie を使用しています。詳細については、[cookie 通知](#) をご覧ください。



メール認証

メールアドレス

yukki@partner.com

に送信

された認証コードを入力してください ([自分のメールアドレスではありませんか](#))。

認証コード

認証

コードの再送信

コードを受け取っていませんか。

- コードが送信されるまで最大 5 分かかります。
- スпамフォルダをご確認ください。

クリック

受信したメール記載の
認証コードを入力



パスワードの設定

✔ E メールアドレスは正常に検証されました ✕

このパスワードを使用して、AWS Builder ID でサインインします。

パスワード

パスワードを確認

パスワードの表示 一致します

AWS Builder ID を作成

クリック

設定する
パスワード を2回入力

- 次のものを使用します。
- ✔ 8~64 characters
- ✔ 大文字 & 小文字
- ✔ 数値
- ✔ 英数字以外の文字



AWS Builder ID の作成

AWS Builder ID は、ビルダー用の新しい個人プロフィールです。 [詳細はこちら](#)

- ✓ 無料で使用を開始する
- ✓ 既存の AWS アカウントを補完する
- ✓ オプションの MFA でログインを保護する

E メールアドレス

次へ

OR

すでに AWS Builder ID をお持ちですか? サインイン

クリック

設定したメールアドレスを入力

続行して AWS ID を使用することで、お客様は、「AWS カスタマーアグリーメント」(「本契約」)、「AWS のサービス条件」、「AWS プライバシー通知」、および「AWS 利用規約」に同意することになります。お客様の AWS Builder ID は、本契約の目的において、AWS アカウントとみなされます。このサイトは必須の Cookie を使用します。詳細については、「[Cookie に関する通知](#)」を参照してください。



パスワードを入力してください

ユーザー名:
yukki@partner.com
(ご自分ではありませんか?)

パスワード

パスワードの表示 [パスワードを忘れた場合](#)

サインイン

キャンセル

これは信頼されたデバイスです。
[詳細はこちら](#)

クリック

設定した
パスワード を入力



追加の検証が必要です

検証コードを記載した E メールを
yukki@partner.com に送信しまし
た (ご自分ではありませんか?)

以下に入力して、本人であることを確認します。

検証コード

検証

[コードを含む E メールを再送信](#)

クリック

受信したメール記載の
認証コード を入力

詳細

セキュリティ

プライバシーとデータ

詳細

AWS Builder ID に対する変更は、AWS Builder ID を使用してアクセスするすべての AWS サービスおよびアプリケーションに適用されます。

プロフィール情報

編集

名前

Yukki

ニックネーム

Yukki

連絡先情報

編集

メールアドレス

yukki@partner.com

AWS Builder ID 作成完了です！

Amazon Q Developer EC2 上にインストール

Step 1.
準備



コンソールのホーム 情報

デフォルトレイアウトにリセット + ウィジェットを追加

AWS へようこそ

AWS の開始方法
AWS を最大限に活用するために基礎を学び、有益な情報を見つけましょう。

トレーニングと認定
AWS のエキスパートから学び、スキルと知識を深めましょう。

AWS の最新情報?
新しい AWS のサービス、機能、およびリージョンについてご覧ください。

最新のお知らせ

5月24 Amazon Bedrock モデルが、AWS GovCloud (米国) において FedRAMP High および DoD IL-4/5 の認証を取得

5月24 Amazon ECS がコンテナの終了理由メッセージを 1024 文字に増加

24 ルがさらに3つの AWS リージョンで利用可能に

すべてのお知らせを表示

AWS を詳しく知る

Amazon Q Developer CLI による...
Q Developer CLI エージェントは、ファイルのローカル実行、AWS API の呼び出...

AWS Gen AI Lofts
世界最大のテクノロジーハブで開催予定の AWS Gen AI Lofts で構築し、学び、...

信頼性の高いLLM 導入

ワークロードの構築を成功させるため...

最近の AWS ブログ記事

6月5 Petrobras が Amazon EC2 スポットインスタンスを使用して HPC アプリケーションのコストとキャパシティを最適化

5月30 寄稿：株式会社ドワンゴによる「AWS で実現するニコニコの大規模セキュリティ改革の概観」

5月30 ロケットミッション解析の迅速化をAWS上で検証：解析の20倍高速化によるDXに向けた技術実証を実施

すべてのブログ記事を表示

ここでは、Amazon Q Developer を動かすための EC2 インスタンス (仮想サーバー) を作成します

ソリューション (16)

一般的なビジネスおよび技術ユースケース向けの AWS の精査済みソリューション。

人工知能 (4) | セキュリティ (4) | インフラストラクチャ (4) | データベース (4)

最小限のコーディングで生成 AI アプリケーションを開始
完了までの時間: 10分

開発から運用までの機械学習モデルの構築



- 最近アクセス
- お気に入り
- すべてのアプリケーション
- すべてのサービス
- Customer Enablement
- IoT
- Machine Learning
- Quantum Technologies
- アプリケーション統合
- エンドユーザーコンピューティング
- クラウド財務管理
- ゲーム開発
- コンテナ
- コンピューティング**
- ストレージ
- セキュリティ、ID、およびアクセス
- データベース
- ネットワークとコンテンツ配信
- ビジネスアプリケーション
- ブロックチェーン
- メディアサービス
- モバイル
- ロボット工学
- 分析
- 移行と転送

1. クリック

2. クリック

コンピューティング

- AWS App Runner**
Build and run production web applications at scale
- Batch**
すべての規模に対応する完全マネージド型のバッチ処理
- ☆ **EC2**
仮想サーバー
- EC2 Global View**
EC2 Global View provides a global dashboard and search functionality that lets you find and view your EC2 and VPC resources across all AWS Regions.
- EC2 Image Builder**
OS イメージの構築、カスタマイズ、デプロイを自動化するマネージド型サービス
- Elastic Beanstalk**
アプリケーションの実行と管理
- EKS**
サーバーのことを考えずにコードを実行する
- Lightsail**
仮想プライベートサーバーの起動および管理
- AWS Outposts**
オンプレミスで AWS のサービスを実行
- Serverless Application Repository**
チーム内または公開してサーバーレスアプリケーションを構築、デプロイ、および共有する
- AWS SimSpace Weaver**
大規模な空間シミュレーションを構築して実行します。

3. クリック

デフォルトレイアウトにリセット

+ ウィジェットを追加

AWS を詳しく知る 情報

Amazon Q Developer CLI による...
Q Developer CLI エージェントは、ファイルのローカル実行、AWS API の呼び出...

AWS Gen AI Lofts
世界最大のテクノロジーハブで開催予定の AWS Gen AI Lofts で構築し、学び、...

信頼性の高い LLM 導入
適切な LLM とコストパフォーマンスに優れた専用インフラストラクチャでビジ...

生成 AI アプリケーションを構築
Amazon Bedrock を使用して生成 AI アプリケーションの構築を成功させるため...

最近の AWS ブログ記事 情報

6月 5日 **Petrobras が Amazon EC2 スポットインスタンスを使用して HPC アプリケーションのコストとキャパシティを最適化**

5月 30日 **寄稿：株式会社ドワンゴによる「AWS で実現するニコニコの大規模セキュリティ改革の概観」**

5月 30日 **ロケットミッション解析の迅速化をAWS上で検証：解析の20倍高速化によるDXに向けた技術実証を実施**

すべてのブログ記事を表示

- EC2
 - ダッシュボード
 - EC2 グローバルビュー
 - イベント
 - ▼ インスタンス
 - インスタンス
 - インスタンスタイプ
 - 起動テンプレート
 - スポットリクエスト
 - Savings Plans
 - リザーブドインスタンス
 - 専有ホスト
 - キャパシティの予約
 - ▼ イメージ
 - AMI
 - AMI カタログ
 - ▼ Elastic Block Store
 - ボリューム
 - スナップショット
 - ライフサイクルマネージャ
 - ▼ ネットワーク & セキュリティ
 - セキュリティグループ
 - Elastic IP

リソース

米国 (オレゴン) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています。

インスタンス (実行中)	0	Auto Scaling グループ	0	Capacity Reservations	0
Elastic IP	0	インスタンス	0	キーペア	0
スナップショット	0	セキュリティグループ	1	プレースメントグループ	0
ボリューム	0	ロードバランサー	0	専有ホスト	0

インスタンスを起動

開始するには、クラウド内の仮想サーバーである Amazon EC2 インスタンスを起動します。

インスタンスを起動 ▼ **クリック**

[サーバーを移行](#)

注意: インスタンスは 米国 (オレゴン) リージョンで起動されます

インスタンスアラーム

[CloudWatch で表示](#)

⚠️ 0 アラーム状態 ✅ 0 OK 📉 0 データが不十分です

[アラーム中のインスタンス](#)

サービス状態

[AWS Health Dashboard](#)

リージョン
米国 (オレゴン)

ステータス
✅ このサービスは正常に動作しています。

ゾーン

ゾーン名	ゾーン ID
us-west-2a	usw2-az1
us-west-2b	usw2-az2
us-west-2c	usw2-az3
us-west-2d	usw2-az4

アカウントの属性

[デフォルト VPC](#)
vpc-0254cfac084b3879d

設定

- データ保護とセキュリティ
- 許可された AMI
- ゾーン
- EC2 シリアルコンソール
- デフォルトのクレジット仕様
- EC2 コンソールの詳細設定

追加情報

- 開始方法チュートリアル
- 入門ガイド
- ドキュメント
- すべての EC2 リソース
- フォーラム
- 料金
- お問い合わせ

- EC2
 - ダッシュボード
 - EC2 グローバルビュー
 - イベント
 - ▼ インスタンス
 - インスタンス
 - インスタンスタイプ
 - 起動テンプレート
 - スポットリクエスト
 - Savings Plans
 - リザーブドインスタンス
 - 専有ホスト
 - キャパシティの予約
 - ▼ イメージ
 - AMI
 - AMI カタログ
 - ▼ Elastic Block Store
 - ボリューム
 - スナップショット
 - ライフサイクルマネージャ
 - ▼ ネットワーク & セキュリティ
 - セキュリティグループ
 - Elastic IP

リソース

米国 (オレゴン) リージョンで次の Amazon EC2 リソースを使用しています。

インスタンス (実行中)	0	Auto Scaling グループ	0	Capacity Reservations	0
Elastic IP	0	インスタンス	0	キーペア	0
スナップショット	0	セキュリティグループ	1	プレースメントグループ	0
ボリューム	0	ロードバランサー	0	専有ホスト	0

インスタンスを起動

開始するには、クラウド内の仮想サーバーである Amazon EC2 インスタンスを起動します。

インスタンスを起動 ▼

サーバーを移行

注意: インスタンスは 米国 (オレゴン) リージョンで起動されます

クリック

インスタンスアラーム

CloudWatch で表示

0 アラーム状態 0 OK 0 データが不十分です

アラーム中のインスタンス

サービス状態

AWS Health Dashboard

リージョン
米国 (オレゴン)

ステータス
このサービスは正常に動作しています。

ゾーン

ゾーン名	ゾーン ID
us-west-2a	usw2-az1
us-west-2b	usw2-az2
us-west-2c	usw2-az3
us-west-2d	usw2-az4

アカウントの属性

デフォルト VPC
vpc-0254cfac084b3879d

設定

データ保護とセキュリティ
許可された AMI
ゾーン
EC2 シリアルコンソール
デフォルトのクレジット仕様
EC2 コンソールの詳細設定

追加情報

開始方法チュートリアル
入門ガイド
ドキュメント
すべての EC2 リソース
フォーラム
料金
お問い合わせ

インスタンスを起動 情報

Amazon EC2 では、AWS クラウドで実行される仮想マシン (インスタンス) を作成できます。以下の簡単なステップに従ってすばやく開始できます。

名前とタグ 情報

名前

さらにタグを追加

インスタンスの名前
自分の名前を入れた名前を入力
(例) amazon-q-yukki

▼ アプリケーション (イメージ) 情報

AMI は、インスタンスの起動テンプレートです。お探し

アプリケーションサーバー、アプリケーション) を含むテンプレートを探してください。

検索

クイックスタート

--	--	--	--	--	--	--

その他の AMI を閲覧する
AWS、Marketplace、コミュニティからの AMI を含む

Amazon マシンイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI ami-0418306302097dbff (64 ビット (x86), uefi-preferred) / ami-0b65bee2e046aec19 (64 ビット (Arm), uefi) 仮想化: hvm ENA 有効: true ルートデバイスタイプ: ebs	無料利用枠の対象
---	----------

説明

Amazon Linux 2023 は、5 年間の長期サポートを備えた、最新の汎用 Linux ベースの OS です。AWS 向けに最適化されており、クラウドアプリケーション

▼ 概要

インスタンス数 情報

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...[続きを読む](#)
ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t2.micro

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750 時間使用できます。

キャンセル

インスタンスを起動

プレビューコード

▼ インスタンスタイプ [情報](#) | [アドバイスを受ける](#)

インスタンスタイプ

- t3.micro**
ファミリー: t3 2 vCPU 1 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.0104 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0139 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.0196 USD 1 時間あたり
オンデマンド RHELベース 料金: 0.0392 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0104 USD 1 時間あたり

クリック

インスタンスの種類 (スペック)
クリックして
t3.large を選択

▼ キーペア (ローカル)

キーペアを使用して... したキーペアにアクセスできることを確認してください。

キーペア名 - 必須

🔄 新しいキーペアの作成

▼ ネットワーク設定 [情報](#)

ネットワーク | [情報](#)

vpc-02c779f99122532d0

サブネット | [情報](#)

優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルトサブネット)

パブリック IP の自動割り当て | [情報](#)

▼ 概要

インスタンス数 | [情報](#)

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.8.2...[続きを読む](#)
ami-0be5f59fbc80d980c

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.micro

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

キャンセル

インスタンスを起動

🔗 プレビューコード

編集

▼ インスタンスタイプ 情報 | アドバイスを受ける

インスタンスタイプ

t3.micro
ファミリー: t3 2 vCPU 1 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.0104 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0139 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.0196 USD 1 時間あたり
オンデマンド RHELベース 料金: 0.0392 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0104 USD 1 時間あたり

検索欄
オンデマンド Windowsベース
オンデマンド Ubuntu Proベース
オンデマンド SUSEベース

t3.medium
ファミリー: t3 2 vCPU 4 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0278 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.0432 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0278 USD 1 時間あたり
オンデマンド RHELベース 料金: 0.0556 USD 1 時間あたり
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.0278 USD 1 時間あたり

t3.large
ファミリー: t3 2 vCPU 8 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド RHELベース 料金: 0.112 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0867 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0832 USD 1 時間あたり
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.1395 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.1108 USD 1 時間あたり

t3.xlarge
ファミリー: t3 4 vCPU 16 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.24 USD 1 時間あたり
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.2227 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.1734 USD 1 時間あたり

パブリック IP の自動割り当て 情報

すべての世代
[インスタンスタイプを比較](#)

インスタンスの種類 (スペック)
クリックして
t3.large を選択

アクセスできることを確認してください

新しいキーペアの作成

クリック 編集

▼ 概要

インスタンス数 情報

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.8.2...[続きを読む](#)
ami-0be5f59fbc80d980c

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.micro

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

キャンセル

インスタンスを起動

プレビューコード

▼ インスタンスタイプ [情報](#) | [アドバイスを受ける](#)

インスタンスタイプ

t3.large
ファミリー: t3 2 vCPU 8 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド RHELベース 料金: 0.112 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0867 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0832 USD 1 時間あたり
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.1395 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.1108 USD 1 時間あたり

すべての世代
[インスタンスタイプを比較](#)

ソフトウェアがプリインストールされた AMI には追加料金がかかります

▼ キーペア (ログイン) [情報](#)

キーペアを使用してインスタンスに安全に接続できます。インスタンスを起動する前に、選択したキーペアにアクセスできることを確認してください。

キーペア名 - 必須

選択

クリック

▼ ネットワーク設定 [情報](#) [編集](#)

ネットワーク | [情報](#)

vpc-02c779f99122532d0

サブネット | [情報](#)

優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルトサブネット)

パブリック IP の自動割り当て | [情報](#)

▼ 概要

インスタンス数 | [情報](#)

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.8.2...[続きを読む](#)
ami-0be5f59fbc80d980c

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

キャンセル

インスタンスを起動

[プレビューコード](#)

▼ インスタンスタイプ [情報](#) | [アドバイスを受ける](#)

インスタンスタイプ

t3.large

ファミリー: t3 2 vCPU 8 GiB メモリ 現行世代: true
オンデマンド RHELベース 料金: 0.112 USD 1 時間あたり
オンデマンド Ubuntu Proベース 料金: 0.0867 USD 1 時間あたり
オンデマンド Linuxベース 料金: 0.0832 USD 1 時間あたり
オンデマンド SUSEベース 料金: 0.1395 USD 1 時間あたり
オンデマンド Windowsベース 料金: 0.1108 USD 1 時間あたり

 すべての世代[インスタンスタイプを比較](#)

ソフトウェアがプリインストールされた AMI には追加料金がかかります

▼ キーペア (ログイン) [情報](#)

キーペアを使用してインスタンスに安全に接続できます。インスタンスを起動する前に、選択したキーペアにアクセスできることを確認してください。

キーペア名 - 必須

選択

🔄 新しいキーペアの作成

🔍

キーペアなしで続行 (推奨されません)

デフォルト値

クリック

編集

ネットワーク [情報](#)

vpc-02c779f99122532d0

サブネット [情報](#)

優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルトサブネット)

パブリック IP の自動割り当て [情報](#)

▼ 概要

インスタンス数 [情報](#)

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.8.2...[続きを読む](#)
ami-0be5f59fbc80d980c

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

キャンセル

インスタンスを起動

🗨️ プレビューコード

キーペアなしで続行 (推奨されません) デフォルト値 新しくキーペアの作成

▼ ネットワーク設定 情報

ネットワーク | 情報

vpc-0254cfac084b3879d

サブネット | 情報

優先順位なし (アベイラビリティゾーンのデフォルトサブネット)

パブリック IP の自動割り当て | 情報

有効化

無料利用枠を超える場合は追加料金が適用されます

ファイアウォール (セキュリティグループ) | 情報

セキュリティグループとは、インスタンスのトラフィックを制御する一連のファイアウォールルールです。特定のトラフィックがインスタンスに到達できるようにルールを追加します。

セキュリティグループを作成 既存のセキュリティグループを選択する

次のルールを使用して、「launch-wizard-1」という新しいセキュリティグループを作成します。

- からの SSH トラフィックを許可
インスタンスへの接続に役立ちます 任意の場所
0.0.0.0/0
- インターネットからの HTTPS トラフィックを許可
エンドポイントをセットアップするには (ウェブサーバーの作成時など)
- インターネットからの HTTP トラフィックを許可
エンドポイントをセットアップするには (ウェブサーバーの作成時など)

⚠ 送信元が 0.0.0.0/0 のルールを指定すると、すべての IP アドレスからインスタンスにアクセスすることが許可されます。セキュリティグループのルールを設定して、既知の IP アドレスからのみアクセスできるようにすることをお勧めします。

クリック 編集

▼ 概要

インスタンス数 | 情報

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...[続きを読む](#)
ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750 時間使用できます。

キャンセル

インスタンスを起動

プレビューコード

▼ ネットワーク設定 情報

VPC - 必須 情報

vpc-0254cfac084b3879d (デフォルト) 172.31.0.0/16

サブネット 情報

指定なし

パブリック IP の自動割り当て 情報

有効化

無料利用枠を超える場合は追加料金が適用されます

ファイアウォール (セキュリティグループ) 情報

セキュリティグループとは、インスタンスのトラフィックを制御する一連のファイアウォールルールです。特定のトラフィックがインスタンスに到達できるようにルールを追加します。

セキュリティグループを作成 (選択済み) 既存のセキュリティグループを選択する

セキュリティグループ名 - 必須

amazon-q-yukki

このセキュリティグループはすべてのネットワークインターフェイスに適用されます。このセキュリティグループの名前は、255文字です。有効な文字は a~z、A~Z、0~9、スペース、およびハイフン (-) です。

説明 - 必須 情報

amazon-q-yukki

インバウンドセキュリティグループのルール

▼ セキュリティグループルール 1 (TCP, 22, 0.0.0.0/0)

タイプ 情報 ssh

プロトコル 情報 TCP

ポート範囲 情報 22

ソースタイプ 情報

ソース 情報

説明 - オプション 情報

▼ 概要

インスタンス数 情報

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...続きを読む ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

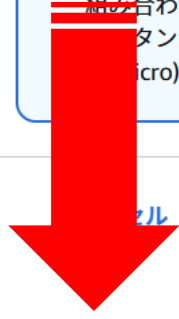
新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750 時間使用できます。

セキュリティグループ名・説明 (ファイアウォール) 自分名前を入れた名前・説明を入力 例) amazon-q-yukki



インスタンスを起動

プレビューコード

任意の場所 例: 管理者のデスクトップの SSH

⚠️ 送信元が 0.0.0.0/0 のルールを指定すると、すべての IP アドレスからインスタンスにアクセスすることが許可されます。セキュリティグループのルールを設定して、既知の IP アドレスからのみアクセスできるようにすることをお勧めします。

[セキュリティグループルールを追加](#)

▼ ストレージを設定 [情報](#)

[アドバンスト](#)

1x GiB ルートボリューム, 3000 IOPS, 暗号化なし

ℹ️ 無料利用枠の対象のお客様は、最大 30 GB の EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックストレージを取得できます。

[新しいボリュームを追加](#)

🔄 [更新] をクリックして、バックアップ情報を表示します
割り当てたタグによって、インスタンスが Data Lifecycle Manager ポリシーによってバックアップされるかどうかが決まります。

0x ファイルシステム [編集](#)

▶ [高度な詳細](#) [情報](#)

クリック

▼ 概要

インスタンス数 [情報](#)

ソフトウェアイメージ (AMI)
Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...[続きを読む](#)
ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)
t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)
新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)
1 ボリューム - 8 GiB

ℹ️ **無料利用枠:** AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750 時間使用できます。

[キャンセル](#)

[インスタンスを起動](#)

[プレビューコード](#)

1x 8 GiB gp3 ルートボリューム, 3000 IOPS, 暗号化なし

無料利用枠の対象のお客様は、最大 30 GB の EBS 汎用 (SSD) ストレージまたはマグネティックストレージを取得できます。

[新しいボリュームを追加](#)

ここから、Amazon Q Developer を動かすためのセキュリティの設定 (IAMプロファイル) を行います

[更新] をクリックして、バックアップ情報割り当てたタグによって、インスタンスが Daうかが決まります。

0x ファイルシステム

[編集](#)

高度な詳細 [情報](#)

ドメイン結合ディレクトリ [情報](#)

選択

[新しいディレクトリの作成](#)IAM インスタンスプロフィール [情報](#)

選択

[新しい IAM プロファイルの作成](#)

クリック

ホスト名のタイプ [情報](#)

IP 名

DNS ホスト名 [情報](#)

- IP 名 IPv4 (A レコード) DNS リクエストを有効化
- リソーススペースの IPv4 (A レコード) DNS リクエストを有効化
- リソーススペースの IPv6 (AAAA レコード) DNS リクエストを有効化

インスタンスの自動復旧 [情報](#)

▼ 概要

インスタンス数 [情報](#)

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...[続きを読む](#)
ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のフリー IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショットおよびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750 時間使用できます。

[キャンセル](#)[インスタンスを起動](#)[プレビューコード](#)

新しいタブに開きます

クリック

ロールを作成

ロール (26) 情報

IAM ロールはユーザーが作成できるアイデンティティであり、特定の許可と短期間有効な認証情報を持っています。ユーザーによって信頼されるエンティティがロールを引き受けることができます。

検索

<input type="checkbox"/>	ロール名	▲ 信頼されたエンティティ	最後のアクティビティ ▼
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAccessAnalyzer	AWS のサービス: access-analyzer (サ	🔴 455 日前
<input type="checkbox"/>	[Redacted]	AWS のサービス: elasticfilesystem (サ	266 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAmazonGuardDuty	AWS のサービス: guardduty (サービ	🔴 455 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAmazonGuardDutyMalwareProtection	AWS のサービス: malware-protectio	🔴 455 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAmazonInspector2	AWS のサービス: inspector2 (サービ	🔴 455 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAmazonMacie	AWS のサービス: macie (サービスリ	🔴 455 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAmazonSageMakerNotebooks	AWS のサービス: sagemaker (サービ	266 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForApplicationAutoScaling_EC2SpotFleetRequest	AWS のサービス: ec2.application-au	-
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForApplicationAutoScaling_ECSService	AWS のサービス: ecs.application-aut	-
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAppSync	AWS のサービス: appsync (サービス!	-
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAWSLicenseManagerMemberAccountRole	AWS のサービス: license-manager (サ	🔴 615 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForAWSLicenseManagerRole	AWS のサービス: license-manager (サ	🔴 615 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForCloudTrail	AWS のサービス: cloudtrail (サービ	331 日前

- ステップ 1 **信頼されたエンティティを選択**
- ステップ 2 許可を追加
- ステップ 3 名前、確認、および作成

信頼されたエンティティを選択 情報

信頼されたエンティティタイプ

- AWS のサービス**
EC2、Lambda、その他の AWS サービスが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。
- AWS アカウント**
お客様またはサードパーティーに属する他の AWS アカウントのエンティティが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。
- ウェブアイデンティティ**
指定された外部ウェブアイデンティティプロバイダーによってフェデレーションされたユーザーが、このロールを引き受け、このアカウントでアクションを実行することを許可します。
- SAML 2.0 フェデレーション**
会社のディレクトリから SAML 2.0 を使用してフェデレーションされたユーザーが、このアカウントでアクションを実行することを許可します。
- カスタム信頼ポリシー**
カスタム信頼ポリシーを作成して、他のユーザーがこのアカウントでアクションを実行できるようにします。

ユースケース

EC2、Lambda、その他の AWS のサービスがこのアカウントでアクションを実行することを許可します。

サービスまたはユースケース

クリック

サービスまたはユースケースを選択 ▼

- ステップ 1 信頼されたエンティティを選択
- ステップ 2 許可を追加
- ステップ 3 名前、確認、および作成

クリック

サービスまたはユースケースをフィルタリング

- 一般的に利用されるサービス
 - EC2
 - Lambda
- その他のサービス
 - Amazon Aurora DSQL
 - Amazon EMR Serverless
 - Amazon OpenSearch Service
 - Amazon Q Business
 - AmazonGrafana
 - Amplify
 - API Gateway
 - AppFabric
 - Application Auto Scaling
 - Application Discovery Service
 - Application Migration Service
 - AppStream 2.0
 - AppSync
 - AWS Backup

に属
クシ
す。

て、
でア
ま

を実行することを許可します。

ウェブアイデンティティ
指定された外部ウェブアイデンティティプロバイダーによってフェデレーションされたユーザーが、このロールを引き受け、このアカウントでアクションを実行することを許可します。

サービスまたはユースケースを選択

ユースケース

EC2、Lambda、その他の AWS のサービスがこのアカウントでアクションを実行することを許可します。

サービスまたはユースケース

EC2

指定したサービスのユースケースを選択します。

ユースケース

- EC2
Allows EC2 instances to call AWS services on your behalf.
- EC2 Role for AWS Systems Manager
Allows EC2 instances to call AWS services like CloudWatch and Systems Manager on your behalf.
- EC2 Spot Fleet Role
Allows EC2 Spot Fleet to request and terminate Spot Instances on your behalf.
- EC2 - Spot Fleet Auto Scaling
Allows Auto Scaling to access and update EC2 spot fleets on your behalf.
- EC2 - Spot Fleet Tagging
Allows EC2 to launch spot instances and attach tags to the launched instances on your behalf.
- EC2 - Spot Instances
Allows EC2 Spot Instances to launch and manage spot instances on your behalf.
- EC2 - Spot Fleet
Allows EC2 Spot Fleet to launch and manage spot fleet instances on your behalf.
- EC2 - Scheduled Instances
Allows EC2 Scheduled Instances to manage instances on your behalf.

クリック

クリック

次へ

- ステップ 1 信頼されたエンティティを選択
- ステップ 2 **許可を追加**
- ステップ 3 名前、確認、および作成

許可を追加 情報

許可ポリシー (2/1050) 情報

新しいロールにアタッチする 1 つ以上のポリシーを選択します。

<input type="checkbox"/>	検索	絞り込みタイプ	タイプ	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	AdministratorAccess を選択	すべてのタイプ	タイプ	
<input checked="" type="checkbox"/>	AdministratorAccess	AWS 管理 - ジョブ機能		Provides full access to AWS services an...
<input type="checkbox"/>	AdministratorAccess-Amplify	AWS 管理		Grants account administrative permissi...
<input type="checkbox"/>	AdministratorAccess-AWSElasticBeanstalk	AWS 管理		Grants account administrative permissi...
<input type="checkbox"/>	AIOpsAssistantPolicy	AWS 管理		Provides ReadOnly permissions requir...
<input type="checkbox"/>	AIOpsConsoleAdminPolicy	AWS 管理		Grants full access to Amazon AI Opera...
<input type="checkbox"/>	AIOpsOperatorAccess	AWS 管理		Grants access to the Amazon AI Opera...
<input type="checkbox"/>	AIOpsReadOnlyAccess	AWS 管理		Grants ReadOnly permissions to the A...
<input type="checkbox"/>	AlexaForBusinessDeviceSetup	AWS 管理		Provide device setup access to AlexaFo...
<input type="checkbox"/>	AlexaForBusinessFullAccess	AWS 管理		Grants full access to AlexaForBusiness ...
<input type="checkbox"/>	AlexaForBusinessGatewayExecution	AWS 管理		Provide gateway execution access to A...
<input type="checkbox"/>	AlexaForBusinessLifeseDelegatedAccessPolicy	AWS 管理		Provide access to Lifesize AVS devices



<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessDeviceSetup	AWS 管理	Provide device setup access to AlexaFo...
<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessFullAccess	AWS 管理	Grants full access to AlexaForBusiness ...
<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessGatewayExecution	AWS 管理	Provide gateway execution access to A...
<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessLifesizeDelegatedAccessPolicy	AWS 管理	Provide access to Lifesize AVS devices
<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessPolyDelegatedAccessPolicy	AWS 管理	Provide access to Poly AVS devices
<input type="checkbox"/>		AlexaForBusinessReadOnlyAccess	AWS 管理	Provide read only access to AlexaForBu...
<input type="checkbox"/>		AmazonAPIGatewayAdministrator	AWS 管理	Provides full access to create/edit/dele...
<input type="checkbox"/>		AmazonAPIGatewayInvokeFullAccess	AWS 管理	Provides full access to invoke APIs in A...
<input type="checkbox"/>		AmazonAPIGatewayPushToCloudWatchLogs	AWS 管理	Allows API Gateway to push logs to us...
<input type="checkbox"/>		AmazonAppFlowFullAccess	AWS 管理	Provides full access to Amazon AppFlo...
<input type="checkbox"/>		AmazonAppFlowReadOnlyAccess	AWS 管理	Provides read only access to Amazon A...
<input type="checkbox"/>		AmazonAppStreamFullAccess	AWS 管理	Provides full access to Amazon AppStr...
<input type="checkbox"/>		AmazonAppStreamPCAAccess	AWS 管理	Amazon AppStream 2.0 access to AWS...

▶ 許可の境界を設定 - オプション

クリック

- ステップ 1
信頼されたエンティティを選択
- ステップ 2
許可を追加
- ステップ 3
名前、確認、および作成

名前、確認、および作成

ロールの詳細

ロール名

このロールを識別するためのわかりやすい名前を入力します。

最大 64 文字です。英数字と '+,=,@-_' の文字を使用してください。

説明

このロールの簡単な説明を追加します。

最大文字数は 1000 文字です。文字 (A~Z および a~z)、数字 (0-9)、

ロール名
自分の名前を入れた**名前**を入力
例) ec2-role-yukki

ステップ 1: 信頼されたエンティティを選択する

編集

信頼ポリシー

```
1 {  
2   "Version": "2012-10-17",  
3   "Statement": [  
4     {  
5       "Effect": "Allow",  
6       "Action": [  
7         "sts:AssumeRole"  
8     ]  
9   },  
10  "Principal": {  
11    "Service": [
```



```
9-     "Principal": {  
10-       "Service": [  
11-         "ec2.amazonaws.com"  
12-       ]  
13-     }  
14-   }  
15- ]  
16- }
```

ステップ 2: 許可を追加する

編集

許可ポリシーの概要

ポリシー名	▲ タイプ	▼ 次としてアタッチ:	▼
AdministratorAccess	AWS 管理 - ジョブ機能	許可ポリシー	

ステップ 3: タグを追加する

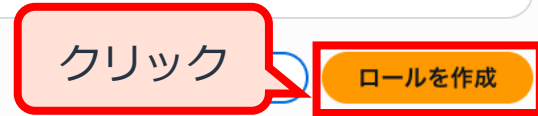
タグを追加 - オプション 情報

タグは AWS リソースに追加できるキーと値のペアで、リソースの特定、整理、検索に役立ちます。

リソースに関連付けられたタグはありません。

[新しいタグを追加する](#)

最大 50 個のタグを追加できます。



2. 元のタブに戻る

✓ ロール ec2-role-yukki が作成されました。

ロールを表示

ロール (2)

1. 作成されたことを確認

IAM ロールはユーザーに紐付けられ、ユーザーが AWS サービスにアクセスするために使用され、許可と短期間有効な認証情報を持っています。ユーザーによって信頼されるエンティティがロールを引き受けることができます。

検索

<input type="checkbox"/>	ロール名	▲ 信頼されたエンティティ	最後のアクティビティ
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForOrganizations	AWS のサービス: organizations (サー...	🕒 615 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForSecurityHub	AWS のサービス: securityhub (サービ...	🕒 455 日前
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForSupport	AWS のサービス: support (サービ...	-
<input type="checkbox"/>	AWSServiceRoleForTrustedAdvisor	AWS のサービス: trustedadvisor (サー...	-

Roles Anywhere 情報

AWS 以外のワークロードを認証し、AWS のサービスへのアクセスをセキュアに提供します。



AWS 以外のワークロードから AWS にアクセス

AWS 内で使用するのと同じ認証および承認戦略を使用して、AWS 以外のワークロードを運用します。



X.509 標準

独自の既存の PKI インフラストラクチャを使用するか、[AWS Certificate Manager プライベート認証機関](#) を使用して、アイデンティティを認証します。



一時的な認証情報

一時的な認証情報を簡単に使用し、その認証情報が提供する強化されたセキュリティからメリットを得ます。

管理

高度な詳細 情報

ドメイン結合ディレクトリ 情報

選択

新しいディレクトリの作成

IAM インスタンスプロフィール 情報

ec2-role-yukki
arn:aws:iam::788625971134:instance-profile/ec2-role-yukki

ロールを選択
クリックして
先ほど作成した**ロール名**を選択
例) ec2-role-yukki

ホスト名のタイプ 情報

IP 名

DNS ホスト名 情報

- IP 名 IPv4 (A レコード) DNS リクエストを有効化
- リソーススペースの IPv4 (A レコード) DNS リクエストを有効化
- リソーススペースの IPv6 (AAAA レコード) DNS リクエストを有効化

インスタンスの自動復旧 情報

選択

シャットダウン動作 情報

停止

停止 - 休止動作 情報

選択

概要

インスタンス数 情報

1

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2... 続きを読む

タイプ (インスタンスタイプ)

ロール (セキュリティグループ)

(ボリューム)

メモリ - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t2.micro が利用できない場合は t3.micro) を 750

キャンセル

インスタンスを起動

プレビューコード



ユーザーデータ (インストールスクリプト)

クリックして

この PDF リンクの下にあった
スクリプトをコピーして貼り付け



クリック

コピー

```
#!/bin/sh

cd /home/ec2-user
curl --proto 'https' --tlsv1.2 -sSf "https://desktop-release.q.us-east-1.amazonaws.com/latest/q-x86_64-linux.zip" -o "q.zip"
unzip q.zip

dnf install pip -y
pip install uv
dnf install graphviz -y

mkdir -p /home/ec2-user/work
cd /home/ec2-user/work
touch AmazonQ.md
cat << EOF > AmazonQ.md
あなた Amazon Q は AWS が提供する AI アシスタントで、開発者やビジネスユーザーの生産性向上を支援します。自然言語での対話を通じて、コード開発、AWS リソース管理、問題解決などをサポートします。会話は必ず日本語で行います、例外はありません。必要に応じてAWSドキュメントや公式サイトを参照し、正確な応答を心がけてください。
EOF
sudo chown -R ec2-user:ec2-user /home/ec2-user
```

Amazon Q Developer を使ってみる

Amazon Q Developer : AI コードアシスタントサービス

手順を資料として [こちら](#) にPDF版ページを用意しています

インストール用ユーザーデータ

スクリプト

```
#!/bin/sh

cd /home/ec2-user
curl --proto 'https' --tlsv1.2 -sSf "https://desktop-release.q.us-east-1.amazonaws.com/latest/q-x86_64-linux.zip" -o "q.zip"
unzip q.zip

dnf install pip -y
pip install uv
dnf install graphviz -y

mkdir -p /home/ec2-user/work
cd /home/ec2-user/work
touch AmazonQ.md
cat << EOF > AmazonQ.md
あなた Amazon Q は AWS が提供する AI アシスタントで、開発者やビジネスユーザーの生産性向上を支援します。自然言語での対話を通じて、コード開発、AWS リソース管理、問題解決などをサポートします。会話は必ず日本語で行います、例外はありません。必要に応じてAWSドキュメントや公式サイトを参照し、正確な応答を心がけてください。
EOF
sudo chown -R ec2-user:ec2-user /home/ec2-user
```

※ ↑ これをコピーすると、上手く貼り付けできないケースがあるので元のハンズオンページのスクリプトを使ってください

キャンセル

インスタンスを起動

プレビューコード

メタデータレスポンスのホップ制限 | 情報

メタデータのタグを許可 | 情報

ユーザーデータ - オプション | 情報

ユーザーデータを含むファイルをアップロードするか、フィールドに入力します。

📁 ファイルを選択

```
#!/bin/sh

cd /home/ec2-user
curl --proto '=https' --tlsv1.2 -sSf "https://desktop-release.q.us-east-1.amazonaws.com/latest/q-x86_64-linux.zip" -o "q.zip"
unzip q.zip

dnf install pip -y
pip install uv
dnf install graphviz -y

mkdir -p /home/ec2-user/work
cd /home/ec2-user/work
touch AmazonQ.md
cat << EOF > AmazonQ.md
```

ユーザーデータは既に base64 エンコードされています

▼ 概要

インスタンス数 | 情報

ソフトウェアイメージ (AMI)

Amazon Linux 2023 AMI 2023.7.2...[続きを読む](#)
ami-0418306302097dbff

垂直サーバータイプ (インスタンスタイプ)

t3.large

ファイアウォール (セキュリティグループ)

新しいセキュリティグループ

ストレージ (ボリューム)

1 ボリューム - 8 GiB

無料利用枠: AWS アカウントを開設した最初の 1 年間は、無料利用枠の AMI、1 か月あたり 750 時間のパブリック IPv4 アドレスの使用、30 GiB の EBS ストレージ、200 万の I/O、1 GB のスナップショット、およびインターネットへの 100 GB の帯域幅と組み合わせて使用すると、1 か月あたり t2.micro インスタンス (または t3.micro) を 750

キャンセル

クリック

インスタンスを起動

プレビューコード

🟢 成功
インスタンスの起動を正常に開始しました **(i-0582ee859bc1ddd81)**

▶ 起動ログ

クリック

次のステップ

請求および無料利用枠使用状況アラートの作成

コストを管理し、予期しない請求を回避するには、請求に関する E メール通知と無料利用枠の使用しきい値を設定します。

[請求アラートの作成](#)

インスタンスに接続する

インスタンスが実行を開始したらローカルコンピュータからログインします。

[インスタンスに接続](#)

[詳細はこちら](#)

RDS データベースに接続する

EC2 インスタンスとデータベース間の接続を設定し、その間のトラフィックフローを許可します。

[RDS データベースに接続する](#)

[新しい RDS データベースを作成する](#)

[詳細はこちら](#)

すべてのインスタンスを表示

- EC2 > インスタンス
- EC2
- ダッシュボード
- EC2 グローバルビュー
- イベント
- ▼ インスタンス
- インスタンス
- インスタンスタイプ
- 起動テンプレート
- スポットリクエスト
- Savings Plans
- リザーブドインスタンス
- 専有ホスト
- キャパシティの予約
- ▼ イメージ
- AMI
- AMI カタログ
- ▼ Elastic Block Store
- ボリューム
- スナップショット
- ライフサイクルマネージャ
-
- ▼ ネットワーク & セキュリティ
- セキュリティグループ
- Elastic IP

インスタンス (1) 情報

最終更新日 less than a minute 前 [リフレッシュ] [接続] [インスタンスの状態] [アクション] [インスタンスを起動]

検索 属性またはタグ (case-sensitive) で インスタンス を検索 [すべての...] [フィルターをクリア]

インスタンス ID = i-0582ee859bc1ddd81

クリック

<input type="checkbox"/>	Name	インスタンス ID	インスタンス...	インスタンス...	ステータスチェック	アラームの状態	アベイラビリティ...	パブリック
<input type="checkbox"/>	amazon-q-yukki	i-0582ee859bc1ddd81	実行中	t3.large	初期化しています	アラームを表示	us-west-2a	ec2-35-16

EC2 インスタンス作成完了!
次に、EC2 にアクセスしましょう!

インスタンスを選択

- EC2
 - ダッシュボード
 - EC2 グローバルビュー
 - イベント
 - ▼ インスタンス
 - インスタンス
 - インスタンスタイプ
 - 起動テンプレート
 - スポットリクエスト
 - Savings Plans
 - リザーブドインスタンス
 - 専有ホスト
 - キャンペーンの予約
 - ▼ イメージ
 - AMI
 - AMI カタログ
 - ▼ Elastic Block Store
 - ボリューム
 - スナップショット
 - ライフサイクルマネージャ
 - ▼ ネットワーク & セキュリティ
 - セキュリティグループ
 - Elastic IP

インスタンス (1/1) 情報

クリック

接続

インスタンスの状態

アクション

インスタンスを起動

検索 属性またはタグ (case-sensitive) で インスタンス を検索

すべての...

インスタンス ID = i-0582ee859bc1ddd81

フィルターをクリア

<input checked="" type="checkbox"/>	Name	インスタンス ID	インスタンス...	インスタンス...	ステータスチェッ!	アラームの状態	アベイラビリティ...	パブリック
<input checked="" type="checkbox"/>	amazon-q-yukki	i-0582ee859bc1ddd81	実行中	t3.large	初期化しています	アラームを表示	us-west-2a	ec2-35-16

i-0582ee859bc1ddd81 (amazon-q-yukki)

詳細 | ステータスとアラーム | モニタリング | セキュリティ | ネットワーキング | ストレージ | タグ

▼ インスタンス概要 情報

インスタンス ID	パブリック IPv4 アドレス	プライベート IPv4 アドレス
i-0582ee859bc1ddd81	35.162.112.22 オープンアドレス	172.31.29.192
IPv6 アドレス	インスタンスの状態	パブリック DNS
-	実行中	ec2-35-162-112-22.us-west-2.compute.amazonaws.com オープンアドレス
ホスト名のタイプ	プライベート IP DNS 名 (IPv4 のみ)	Elastic IP アドレス
IP 名: ip-172-31-29-192.us-west-2.compute.internal	ip-172-31-29-192.us-west-2.compute.internal	
プライベートリソースの DNS 名に回答	インスタンスタイプ	

接続 情報

Connect to an instance using the browser-based client.

EC2 Instance Connect

セッションマネージャー

SSH クライアント

EC2 シリアルコンソール

インスタンス ID

📄 i-0582ee859bc1ddd81 (amazon-q-yukki)

Connect using a Public IP

Connect using a public IPv4 or IPv6 address

Connect using a Private IP

Connect using a private IP address and a VPC endpoint

パブリック IPv4 アドレス

📄 35.162.112.22

IPv6 アドレス

-

ユーザー名

インスタンスの起動に使用される AMI で定義されたユーザー名を入力します。カスタムユーザー名を定義していない場合は、デフォルトのユーザー名 ec2-user を使用します。

🔍 ec2-user



📌 **注意:** ほとんどの場合はデフォルトのユーザー名 ec2-user に間違いはありませんが、AMI の使用手順を読んで AMI の所有者がデフォルトの AMI ユーザー名を変更していないか確認してください。

クリック

接続



```
#_
- \ #####_          Amazon Linux 2023
-- \ #####_ \
-- \   \####|
-- \   \###|
-- \   \#/
-- \   \v- ' ' ->      https://aws.amazon.com/linux/amazon-linux-2023
--
--
-- . -
-- /m/ '
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$
```

EC2 インスタンスアクセスできました！

次に、Amazon Q Developer をセットアップしましょう！

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115




```
#
###
###
###
###
\###
\#/
v-' '->
m/

[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ ./q/install.sh
? Do you want q to modify your shell config (you will have to manually do this otherwise)?
> Yes
NO
```

Yes を選択

※ 選択は Enter を押下

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115




```
      #_
     / \  ##### Amazon Linux 2023
    /   \#####
   /     \#####
  /       \###|
 /         \#/  https://aws.amazon.com/linux/amazon-linux-2023
/           v-'-'>
/
/
/
/m/'-'-'>

[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ ./q/install.sh
✓ Do you want q to modify your shell config (you will have to manually do this otherwise)? · Yes
✓ Select login method · Use for Free with Builder ID

Confirm the following code in the browser
Code: TGDS-WJMW

Open this URL: https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-W
##### Logging in...
```

認証URL

URL を選択

※ マウスでドラッグ

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



```
Amazon Linux 2023
```

```
https://aws.amazon.com/linux/amazon-linux-2023
```

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ ./q/install.sh
```

```
✓ Do you want q to modify your shell config (you will have to manually do this otherwise)? · Yes
```

```
✓ Select login method · Use for Free with Builder ID
```

Confirm the following code in the browser

Code: **TGDS-WJMW**

Open this URL: https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-WJMW

```
##### Logging in...
```

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

- Look Up "https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code..."
- Emoji & Symbols
- Undo
- Redo
- Copy
- Paste
- Paste and Match Style
- Select All
- Open in Reading Mode
- Go to https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code...
- Print...
- Open in Reading Mode
- Translate Selection to English
- Language Settings
 - Writing Direction >
- Inspect
- Speech >
- Writing Tools >
- AutoFill >
- Services >

右クリックして
Copy を選択

https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-WJMW|

新しいタブを開いて
コピーした URL へアクセス



You've gone Incognito

Others who use this device won't see your activity, so you can browse more privately. This

ここから Amazon Q Developer 利用のため
AWS Builder ID の認証を行っていきます

Block third-party cookies
When on, sites can't use cookies that track you across the web. Features on some sites may break.



AWS Builder ID の作成

AWS Builder ID は、ビルダー用の新しい個人プロフィールです。 [詳細はこちら](#)

- ✓ 無料で使用を開始する
- ✓ 既存の AWS アカウントを補完する
- ✓ オプションの MFA でログインを保護する

E メールアドレス

yukki@partner.com

次へ

OR

すでに AWS Builder ID をお持ちですか? サインイン

クリック

設定した
メールアドレス を入力

続行して AWS ID を使用することで、お客様は、「AWS カスタマーアグリーメント」(「本契約」)、「AWS のサービス条件」、「AWS プライバシー通知」、および「AWS 利用規約」に同意することになります。お客様の AWS Builder ID は、本契約の目的において、AWS アカウントとみなされます。このサイトは必須の Cookie を使用します。詳細については、「[Cookie に関する通知](#)」を参照してください。



パスワードを入力してください

ユーザー名:
yukki@partner.com
[ご自分ではありませんか?](#)

パスワード
.....|

パスワードの表示 [パスワードを忘れた場合](#)

サインイン

キャンセル

これは信頼されたデバイスです。
[詳細はこちら](#)

クリック

設定した
パスワードを入力



認証がリクエストされました

アプリケーションまたはサービスが、お客様の AWS アカウントとリソースへのリクエストしています。



このコードが指定されたものと一致しているか確認してください。

TGDS-WJMW

お客様によるリクエストではない場合、またはコードが一致しない場合は、このリクエストをキャンセルしてください。

クリック

確認して続行

キャンセル



Amazon Q Developer for command line がデータにアクセスすることを許可しますか？

[アクセスを許可] を選択すると、Amazon Q Developer for command line 以下へのアクセスを許可することに同意したものとみなされます。



クリック

アクセスを許可

AWS Builder ID の認証完了！

この画面は閉じてOKです



✔️ **リクエストが承認されました**
Amazon Q Developer for command line は
Amazon Q Developer でデータにアクセスできる
ようになりました。

このウィンドウは閉じることができます。



検索

[オプション+S]



米国 (オレゴン) ▾



Amazon Linux 2023

<https://aws.amazon.com/linux/amazon-linux-2023>

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ ./q/install.sh
```

```
✓ Do you want q to modify your shell config (you will have to manually do this otherwise)? · Yes
```

```
✓ Select login method · Use for Free with Builder ID
```

Confirm the following code in the browser

Code: TGDS-WJMW

Open this URL: https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-WJMW

Device authorized

Logged in successfully

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115
```

認証完了を確認

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)



PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

```
 #_
---\  #####
---\  #####\
---\  #####|
---\  #/
---\  v-' ->
---
---. _
---/_m/'
```

Amazon Linux 2023

https://aws.amazon.com

Amazon Q Developer を起動しましょう！

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ ./q/install.sh
```

```
✓ Do you want q to modify your shell config (you will have to manually do this otherwise)? · Yes
```

```
✓ Select login method · Use for Free with Builder ID
```

```
Confirm the following code in the browser
```

```
Code: TGDS-WJMW
```

```
Open this URL: https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-WJMW
```

```
Device authorized
```

```
Logged in successfully
```

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ q
```

q

を入力

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



Code: TGDS-WJMW

Open this URL: <https://view.awsapps.com>

Device authorized

Logged in successfully

[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]\$ q

To learn more about MCP safety, see <https://docs.aws.amazon.com/amazonq/latest/qdeveloper-ug/command-line-mcp-security.html>

Amazon Q Developer 起動しました！！

やったー！



Did you know?

Use `/model` to select the model to use for this conversation

`/help` all commands • `ctrl + j` new lines • `ctrl + s` fuzzy search

🤖 You are chatting with `claude-3.7-sonnet`

>

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



もしうまく動かない場合は

q login

と入力することで再認証できます
その後は [P.41](#) からの手順と同様です

Code: TGDS-WJMW

Open this URL: https://view.awsapps.com/start/#/device?user_code=TGDS-WJMW

Device authorized

Logged in successfully

[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]\$ q

To learn more about MCP safety, see <https://docs.aws.amazon.com/amazonq/latest/qdeveloper-ug/command-line-mcp-security.html>



Did you know?

Use `/model` to select the model to use for this conversation

`/help` all commands • `ctrl + j` new lines • `ctrl + s` fuzzy search

🤖 You are chatting with `claude-3.7-sonnet`

> こんにちは！

プロンプトを入力

例) こんにちは！

(とりあえず挨拶だけです。日本語対応なので、これはなんでもOKです)

Logged in successfully

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ q
```

To learn more about MCP safety, see <https://docs.aws.amazon.com/amazonq/latest/qdeveloper-ug/command-line-mcp-security.html>



Did you know?

Use `/model` to select the model to use for this conversation

`/help` all commands • `ctrl + j` new lines • `ctrl + s` fuzzy search

🤖 You are chatting with `claude-3.7-sonnet`

> こんにちは！
こんにちは！お手伝いできることがありましたら、お知らせください。AWS関連のご質問や、コマンドラインでの作業のサポートなど、どんなことでもお気軽にお尋ねください。

返答を確認

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

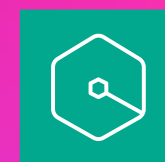


Amazon Q Developer

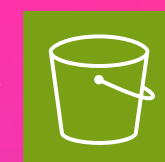
S3 バケットの作成 (依頼)

Step 2.
S3バケット作成

作成



Amazon Q



Amazon S3



作成指示

```
[ec2-user@ip-172-31-18-115 ~]$ q
```

```
To learn more about MCP safety, see https://docs.aws.amazon.com/amazonq/latest/qdeveloper-ug/command-line-mcp-security.html
```



Did you know?

Use `/model` to select the model to use for this conversation

`/help` all commands • `ctrl + j` new lines • `ctrl + s` fuzzy search

🤖 You are chatting with `claude-3.7-sonnet`

> こんにちは！
こんにちは！お手伝いできることがありましたら、お知らせください。AWS関連のご質問や、コマンドラインでの作業のサポートなど、どんなことでもお気軽にお尋ねください。

> Amazon S3のバケットを作成してください。名前は `yukki` とランダムな文字列から作成してください。

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

プロンプトを入力



```
/help all commands • ctrl + j new lines • ctrl + s fuzzy search
```

🤖 You are chatting with claude-3.7-sonnet

> こんにちは！
こんにちは！お手伝いできることがありましたら、お知らせください。AWS関連のご質問や、コマンドラインでの作業のサポートなど、どんなことでもお気軽にお尋ねください。

> Amazon S3のバケットを作成してください。名前は yukki とランダムな文字列から作成してください。

S3バケットを作成します。バケット名は「yukki」とランダムな文字列を組み合わせたものにします。

まず、AWS CLIを使ってS3バケットを作成します。バケット名はグローバルに一意である必要があるため、ランダムな文字列を追加します。

🔧 Using tool: execute_bash

● I will run the following shell command:

```
RANDOM_STRING=$(cat /dev/urandom | tr -dc 'a-z0-9' | fold -w 8 | head -n 1); BUCKET_NAME="yukki-{$RANDOM_STRING}"; echo "バケット名: $BUCKET_NAME"
```

↳ Purpose: ランダムな文字列を生成してバケット名を作成

Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for the session. [y/n/t]:

> **t**

実行の許可

i-04e0
PublicIPs

コマンドを実行していいかの確認なので、y (yes) または t (trust) を入力

※ t は 以後同様のコマンドは自動実行OKという意味なので、今回は t を入力



↳ Purpose: ランダムな文字列を生成してバケット名を作成

Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for the session. [y/n/t]:

> t
バケット名: yukki-fpquz8nz

● Completed in 0.9s
バケット名「yukki-fpquz8nz」を使用してs3バケットを作成します:

✂️ Using tool: use_aws

● Running aws cli command:

Service name: s3api
Operation name: create-bucket
Parameters:
- bucket: "yukki-fpquz8nz"
Profile name: default
Region: us-east-1
Label: S3バケットの作成

Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for the session. [y/n/t]:

> t

実行の許可

i-04e0
PublicIPs
コマンドを実行していいかの確認なので、y (yes) または t (trust) を入力

※ t は 以後同様のコマンドは自動実行OKという意味なので、今回は t を入力



● **Completed in 0.9s**
バケット名「yukki-fpquz8nz」を使用してS3バケットを作成します：

✂️ Using tool: use_aws

● Running aws cli command:

```
Service name: s3api
Operation name: create-bucket
Parameters:
- bucket: "yukki-fpquz8nz"
Profile name: default
Region: us-east-1
Label: S3バケットの作成
Allow this action? Use 't' to trust (also use 'y/n/t'):
```

> t

● **Completed in 1.760s**
S3バケット「yukki-fpquz8nz」が正常に作成されました。バケットの場所は「/yukki-fpquz8nz」です。

このバケットに対して、ファイルのアップロード、ダウンロード、削除などの操作が可能です。必要に応じて、バケットポリシーやライフサイクルルールなどの設定も追加できます。

>

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



s3 と入力

サービス

9 件すべての結果を表示



S3
クラウド内のスケーラブルなストレージ

主要な機能

バケット Storage Lens のダッシュボード バッチオペレーション S3 Express One Zone S3

作成された **S3 バケット**を確認しましょう！



Storage Gateway
ハイブリッドストレージの統合

機能

40 件すべての結果を表示

S3 Access Grants

● S3 の機能

S3 からのインポート

■ DynamoDB の機能

これらの結果は役に立ちましたか？

👍 はい

👎 いいえ

+ ウィジェットを追加

AWS ブログ記

全体で Amazon Connect の
一操作を監査する方法

高：株式会社ドワンゴによる
AWS で実現するニコニコの
規模セキュリティ改革の概

AWS Weekly Roundup:
lands Agents、AWS
nsform、Amazon Bedrock
ードルール、AWS CodeBuild
ど (2025 年 5 月 19 日)

のブログ記事を表示



Amazon S3



汎用バケット

ディレクトリバケット

テーブルバケット

Access Grants

アクセスポイント

Access Points for directory buckets

Object Lambda アクセスポイント

マルチリージョンアクセスポイント

バッチオペレーション

IAM Access Analyzer for S3

このアカウントのブロックパブリックアクセス設定

▼ Storage Lens

ダッシュボード

ストレージレンズグループ

AWS Organizations の設定

注目機能 11

▶ アカウントのスナップショット - 24 時間ごとに更新 すべての AWS リージョン[Storage Lens ダッシュボードを表示](#)

ストレージレンズは、ストレージの使用状況とアクティビティの傾向についての可視性を提供します。メトリクスにはディレクトリバケットは含まれません。 [詳細](#)

汎用バケット

ディレクトリバケット

汎用バケット (1) 情報 すべての AWS リージョン

📄 ARN をコピー

空にする

削除

バケットを作成

バケットは S3 に保存されたデータのためのコンテナです。

🔍 バケットを名前を検索

< 1 > ⚙️

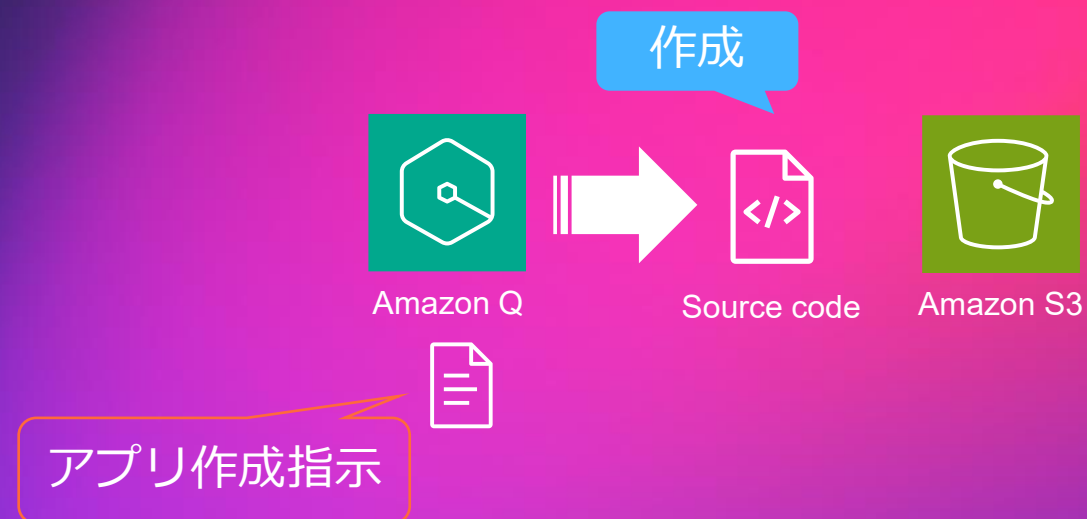
名前 ▲	AWS リージョン ▼	IAM Access Analyzer	作成日 ▼
<input type="radio"/> yukki-fpqz8nz	米国東部 (バージニア北部) us-east-1	us-east-1 のアナライザーを見る	2025/06/06 03:47:02 PM JST

同じ名前の S3 バケットができていれば OK !

Amazon Q Developer

アプリの作成 (依頼)

Step 3.1
アプリ作成



● **Completed in 0.9s**
バケット名「yukki-fpquz8nz」を使用してs3バケットを作成します：

✂️ Using tool: use_aws

● Running aws cli command:

```
Service name: s3api
Operation name: create-bucket
Parameters:
- bucket: "yukki-fpquz8nz"
Profile name: default
Region: us-east-1
Label: S3バケットの作成
Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for
> t
```

● **Completed in 1.760s**
S3バケット「yukki-fpquz8nz」が正常に作成されました。バケットの場所は「/yukki-fpquz8nz」です。

このバケットに対して、ファイルのアップロード、ダウンロード、削除などの操作が可能です。必要に応じて、バケットポリシーやライフサイクルルールなどの設定も追加できます。

> あなたはとにかく元気なAWSフルスタックエンジニアです。とにかく元気に振る舞ってください。シンプルでキレイなTetrisゲームを作成してください。実装はindex.htmlファイルのみとし、Amazon S3でホストする前提で作成してください。

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

プロンプトを入力



```
✖ Using tool: use_aws
```

```
● Running aws cli command:
```

```
Service name: s3api
```

```
Operation name: create-bucket
```

```
Parameters:
```

```
- bucket: "yukki-fpquz8nz"
```

```
Profile name: default
```

```
Region: us-east-1
```

```
Label: S3バケットの作成
```

```
Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for the session. [y/n/t]:
```

```
> t
```

```
● Completed in 1.760s
```

```
S3バケット「yukki-fpquz8nz」が正常に作成されました。バケットの場所は「/yukki-fpquz8nz」です。
```

このバケットに対して、ファイルのアップロード、ダウンロード、削除などの操作が可能です。必要に応じて、バケットポリシーやライフサイクルルールの設定も追加できます。

> あなたはとにかく元気なAWSフルスタックエンジニアです。とにかく元気に振る舞ってください。シンプルでキレイなTetrisゲームを作成してください。実装はindex.htmlファイルのみとし、Amazon S3でホストする前提で作成してください。

こんにちは！元気いっぱいのAWSフルスタックエンジニアです！🚀✨シンプルでキレイなTetrisゲームを作りましょう！S3でホストするためのindex.htmlファイルを一つだけ作成します！

レッツゴー！👉

```
∴ Thinking...
```

作成開始を確認

数分で作成されるので、少々お待ちください

(なんか元気になってますね)

i-04e01dbdedb7b0ca

PublicIPs: 54.212.39.154



```
+ 548:     case 40: // 下矢印
+ 549:         this.moveDown();
+ 550:         break;
+ 551:     case 38: // 上矢印
+ 552:         this.rotate();
+ 553:         break;
+ 554:     case 32: // スペース
+ 555:         this.hardDrop();
+ 556:         break;
+ 557:     case 80: // P
+ 558:         this.togglePause();
+ 559:         break;
+ 560:     }
+ 561: }
+ 562: }
+ 563:
+ 564: // ゲーム初期化
+ 565: window.onload = () => {
+ 566:     const game = new Tetris();
+ 567: };
+ 568: </script>
+ 569: </body>
+ 570: </html>
```

プログラムの作成が完了しました！

これはファイルの書き込みをしていいかの確認画面です
(Amazon Q Developer は勝手に書き込みしないようになっています)

Allow this action? Use 't' to trust (always allow) this tool for the session. [y/n/t]:

> **t**

実行の許可

i-04e0...
PublicIPs...
コマンドを実行していいかの確認なので、y (yes) または t (trust) を入力

※ t は 以後同様のコマンドは自動実行OKという意味なので、今回は t を入力



```
> t
Creating: /home/ec2-user/index.html
```

```
⋮
● Completed in 0.0s
# 🎮超シンプル&キレイなテトリスゲーム完成! 🎉
```

やったー! s3でホストするための超クールなテトリスゲームを作成しました! ✨index.htmlファイル一つだけでOKです!

🌟ゲームの特徴

- 美しいグラデーション背景でビジュアル的にも楽しい!
- スコア、レベル、消したライン数の表示機能付き!
- 次のピースが表示されるプレビュー機能!
- レベルアップするとスピードアップする本格システム!
- 全部HTML/CSS/JavaScriptだけで実装! 外部ライブラリなし!

ゲームアプリ完成!!

🚀s3にデプロイする方法

このファイルをs3バケットにアップロードして、静的ウェブサイトホスティングを有効にするだけでOKです!

```
bash
```

```
# 先ほど作成したバケットにアップロード
```

```
aws s3 cp index.html s3://yukki-fpquz8nz/index.html
```

```
# 静的ウェブサイトホスティングを有効化
```

```
aws s3 website s3://yukki-fpquz8nz/ --index-document index.html
```

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



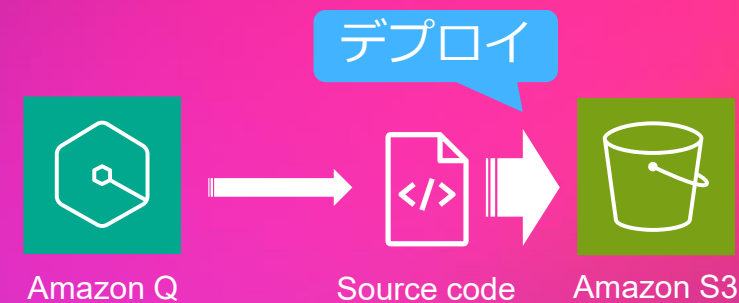
Amazon Q Developer

アプリのデプロイ (依頼)

※ デプロイ : ゲームを実行できるように S3 にアップロード

アプリデプロイ指示

Step 3.2 アプリデプロイ




```
aws s3api put-bucket-policy --bucket yukki-fpquz8nz --policy '{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "PublicReadGetObject",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": "*",
      "Action": "s3:GetObject",
      "Resource": "*"
    }
  ]
}'
```

これで <http://yukki-fpquz8nz.s3-website-us-east-1.amazonaws.com/>

🎮 ゲームの操作方法

- ← → キー：左右移動
- ↑ キー：回転
- ↓ キー：高速落下
- スペースキー：ハードドロップ（一気に落とす）

ぜひ遊んでみてください！高得点を目指して頑張ってください！🔥

何か他に必要なことがあれば、元気いっぱいにサポートしますよ～！🔥

> s3にアップロードして、静的ウェブサイトホスティング設定をし、公開設定をしてゲームがブラウザから実行できるようにしてください

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

入力プロンプト

s3にアップロードして、静的ウェブサイトホスティング設定をしてください。S3バケットのパブリックアクセスブロック設定を無効化してから公開設定を行って、ゲームがブラウザから実行できるようにしてください

ちょっと解説

※ S3に作成したファイルをアップロードします。ただしこのままだとセキュリティ設定でアクセス出来ません。そのため、公開設定にしてゲームが実行できるようにしています

プロンプトを入力

```
● I will run the following shell command:  
aws s3 cp /home/ec2-user/index.html s3://yukki-fpquz8nz/index.html
```

```
↳ Purpose: S3バケットにindex.htmlをアップロード
```

```
upload: ./index.html to s3://yukki-fpquz8nz/index.html
```

```
● Completed in 1.10s
```

```
✂ Using tool: use_aws (trusted)
```

```
● Running aws cli command:
```

```
Service name: s3api  
Operation name: put-bucket-website  
Parameters:  
- bucket: "yukki-fpquz8nz"  
- website-configuration: {"IndexDocument":{"Suffix":"index.html"}}  
Profile name: default  
Region: us-east-1  
Label: S3バケットの静的ウェブサイトホスティングを有効化
```

```
● Completed in 0.940s
```

```
∴ Thinking...
```

実行完了まで、少しお待ちください

※ もしここで実行許可がきかれたら、y または t を入力してください

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki)

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115



Region: us-east-1

Label: S3バケットのウェブサイトエンドポイントを取得

⋮
● **Completed in 0.872s**

🎮 テトリスゲームを公開しました! 🎉🎉🎉

やったー! テトリスゲームが無事にs3にアップロードされ、公開設定も完了しました! ✨以下の手順で実行できます:

🚀 実行手順

1. **ファイルのアップロード: ✅完了!**
 - index.htmlファイルをS3バケット「yukki-fpquz8nz」にアップロードしました
2. **静的ウェブサイトホスティング設定: ✅完了!**
 - インデックスドキュメントを「index.html」に設定しました
3. **パブリックアクセス設定: ✅完了!**
 - バケットのブロックパブリックアクセス設定を無効化しました
 - バケットポリシーを設定して、誰でもオブジェクトを読み取れるようにしました

🌐 アクセス方法

テトリスゲームは以下のURLからアクセスできます:

<http://yukki-fpquz8nz.s3-website-us-east-1.amazonaws.com/>

このURLをブラウザに入力すると、作成したテトリスゲームが表示されます!

ゲームアプリ
デプロイ完了!!

少し下に
スクロール



i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki) ✕

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

🌐 アクセス方法

テトリスゲームは以下の URL からアクセスできます：

<http://yukki-fpqz8nz.s3-website-us-east-1.amazonaws.com>

この URL をブラウザに入力すると、作成したテトリスゲームが

🎮 ゲームの操作方法 (おさらい)

- ← → キー：左右移動
- ↑ キー：回転
- ↓ キー：高速落下
- スペースキー：ハードドロップ (一気に落とす)
- 「ゲームスタート」 ボタン：ゲーム開始
- 「一時停止」 ボタン：ゲームの一時停止/再開

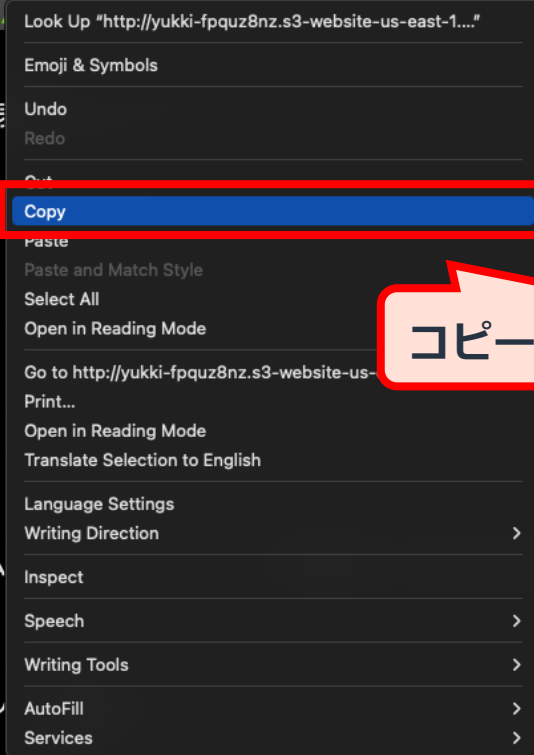
📦 おまけ情報

S3 静的ウェブサイトホスティングは、シンプルなウェブゲームに高速で安全なホスティングも可能ですよ！

楽しいテトリスライフをお過ごしください！ 🎮✨ 高得点を目指し

>

できあがった URL を選択し、右クリック



コピー をクリック

る素晴らしい方法です！ CloudFront と組み合わせれば、さ

i-04e01dbdedb7b0ca9 (amazon-q-yukki) ✕

PublicIPs: 54.212.39.154 PrivateIPs: 172.31.18.115

新しいタブを開いて
コピーした URL へアクセス



yukki-fpqz8nz.s3-website-us-east-1.amazonaws.com
doesn't support a secure connection with HTTPS

You are seeing this warning because this site does not support HTTPS and you are in Incognito mode. [Learn more about this warning](#)

Continue to site

Go back

クリック

✨ シンプル&キレイなテトリス ✨



スコア: 0

レベル: 1

消したライン: 0

次のピース:



作成完了です！

操作方法:

- ←→: 左右移動
- ↑: 回転
- ↓: 高速落下
- スペース: ハードドロップ

ゲームスタート

一時停止

※ 画面はその時によって結構違うので、ゲームが出来れば OK です！

✨ シンプル&キレイなテトリス ✨



スコア: 100

レベル: 1

消したライン: 1

ゲームオーバー！

スコア: 100

もう一度プレイ

操作方法:

- ← → : 左右移動
- ↑ : 回転
- ↓ : 高速落下
- スペース : ハードドロップ

ゲームスタート

一時停止

色々遊んでみてください！！

Tips : 追加の依頼でさらに改善

Amazon Q Developer では、対話ベースで改善・修正が可能です。

「希望通りになっていない」「もっとこうしたい！」とかあれば、それを伝えてみてください。プログラムの修正をしてくれます。

繰り返すことでより理想のプログラムにしてみましょう

サンプル:

ブロックが消えるときにキレイなエフェクトを追加してください。プログラムを修正したらアップロードし、実行できるようにしてください。



参考：無料利用枠について

Amazon Q Developer 無料利用枠では、
1 か月あたり 50 件のチャットインタラクションが可能です。

また、1 か月に 5 回ソフトウェアを開発したり、1 か月あたり最大 1,000 行の
コードを変換したりすることもできます。

価格と Amazon Q Developer 無料利用枠 については、
[Amazon Q Developer の料金](#)をご覧ください。



Thank you!

簡単にプログラムを作成・デプロイできる
コーディングアシスタントAIサービス **Amazon Q Developer** でした！
お疲れ様でしたー！

